

技術と経験を活かした農業を！ (富士宮市)

R6.11.19訪問

お名前	野菜絶佳 田村 由衣さん (30歳)、剛史さん (35歳)
就農した時期	2021年8月 (就農4年目)、2022年5月 (就農3年目)
栽培品目と面積	ねぎ、なばな、玉ねぎ、ズッキーニ、なす、ケール カリフラワー、茎ブロッコリー など 合計1ha
販路	沼津中央青果、JA直売所、道の駅
働き手	本人 ▶カリフラワー



■ 就農したきっかけ

種苗メーカーに勤め野菜のブリーダーをしていましたが、結婚を機に将来を見据えて、技術と経験を活かせる職業を検討した結果、夫婦で農業を営むことを決意して就農しました。

■ 活用した支援策等

退職後は直ちに就農する予定であったため、「新規就農者育成総合対策」のうち「経営開始資金」を活用しました。

■ 工夫したこと

主要産地との価格競争を避けるため、同じ農産物でも珍しい品種の生産や独自の規格にて出荷を行うことで、他産地と差別化が図れるよう工夫しています。また、前職の経験を活かしてより良い野菜を作るため、品目や品種ごとに種苗メーカーを使い分けています。

■ 今後の展開や取り組みたいこと

農地中間管理機構を活用し農地を増やす計画や、「青年等就農資金」を活用した育苗ハウスの建設を計画しています。将来的には法人化できるような農業経営に励んでいます。

■ 新規就農を目指す人に伝えたいこと

就農セミナーや経営セミナーへ積極的に参加すること、使えるものは何でも使う精神で国や県の支援策を活用することを勧めます。就農前に研修を行う場合は、研修後に自分の畑を持つのではなく、研修と並行して自分の畑でも実践的に勉強し、研修中に自分の畑でも様々な失敗を経験しておくことが良いと思います。